

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
カウンセリング応用 Advanced Counseling		2年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択	(特になし。)	特になし。
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
カウンセリング概論、心理学、メンタルヘルス				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
心理学系科目				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
小竹仁美	講義棟3階	水・木・金 (授業時間と学生相談時間を除く)		授業中に指示します
授業の概要				
この科目は「カウンセリング概論」の発展コースと位置づけている。カウンセリングの知識とスキルの向上をめざすための授業である。				
授業の目標				
①学習した面接技法を、ロールプレイで能動的に活用できるようにする。 ②カウンセリングのプロセスを体験的に理解し、カウンセラーとしてのあり方を認識できるようにする。 ③カラーセラピスト資格を取得できるようにする。				
授業の方法				
講義とロールプレイなどの参加型形式。				
学習の成果 (学習成果)				
①傾聴の態度を体得し、聴く力を高めることができる。 ②カウンセリングプロセスを理解しながら、カウンセリングを進めることができる。 ③カラーセラピスト資格を取得できる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス 履修者のカウンセリングスキルチェック (1) セラピスト資格について			
第2回目	カウンセリングの諸理論と面接技法の特徴について ラポール形成について			
第3回目	心理検査等による自己分析 レポート① (自己分析)			
第4回目	ロールプレイ (1) 相手が話しやすくなる態度と聞き方			
第5回目	ロールプレイ (2) 聞き手の反応で相手の話し方が変わる			
第6回目	ロールプレイ (3) 話を促進する聴く技術 レポート② (ロールプレイングの振り返り)			

第7回目	プロセスの振り返り	カウンセリングの事例から学ぶ（1）
第8回目		カウンセリングの事例から学ぶ（2）
第9回目	ロールプレイ（4）	進路の悩み
第10回目	ロールプレイ（5）	友人関係
第11回目	プロセスの振り返り	レポート③（事例とロールプレイから気づいたこと）
第12回目	アドバンスカラーセラピスト養成講座（ティーチャーによる講義）（別日程） *テキスト代、カラーカード代、認定料等の費用として17,000円を事前に徴収します。	
第13回目	アドバンスカラーセラピスト養成講座（ティーチャーによる実技指導）（別日程）	
第14回目	アドバンスカラーセラピスト養成講座（ティーチャーによる実技指導）（別日程）	
第15回目	履修者のカウンセリングスキルチェック（2）	まとめ レポート④（半期の振り返り）
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	60%	ロールプレイや話し合いに真摯な態度で臨んでいる。学習した技法を積極的に活用している。
レポート	40%	授業内容に基づいたテーマで、内容構成がしっかりしていて、学習成果が十分に示されている。
調査報告書		
小テスト		
試験		
発表内容（態度含む）		
その他		
教科書と参考図書		
資料を配布する。		
履修上の留意点・ルール		
意欲的に参加し、他に履修者と積極的に交流することを期待します。		